

## 味の素株式会社 川崎事業所

### 【食品製造工程残渣のバイオマス燃料化】

#### 功績

---

大豆由来の液体調味料製造時に発生する残渣を、バイオマス燃料として開発。バイオマス発電所に供給し、電力供給に貢献。この残渣の原料は大豆である為、植物の成長過程で  $\text{CO}_2$  を吸収しており、燃やしても  $\text{CO}_2$  フリー（カーボンニュートラル）とみなせ、同様のバイオマス燃料である生木チップと同等の熱量を有し、湿分除去ベースでは石炭並みの熱量を有する、非常に有用なバイオマス燃料です。バイオマス発電所へは年間 3000~4000t の残渣を供給する見込みで、これが寄与する発電量は約 390~520 万 kwh( 約 650~900 世帯分の電力 ) であり、 $\text{CO}_2$  に換算すると年間 2,200t に相当します。大豆搾りカスの燃料化は、エネルギー供給の促進だけでなく、環境保全の観点からも、廃棄物の削減、資源化率向上の取り組みにも貢献できます。